

日本菌学会 秋のシンポジウム「菌類特にきのこの話題—東北の復興を願って」開催の
ご案内

東日本大震災で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

この度、日本菌学会では、先の震災で被害に遭われた東北の産業界、特に風評被害を被っている東北のきのこ生産者の皆様への応援の意を込めて、下記の通り、秋のシンポジウムを企画しました。講演は、食用きのこの効用、栽培技術の進歩に加え、放射性物質ときのこの関わり、きのここと食の話題などを予定しています。会場ではきのこの展示即売会も行いますので、皆様、奮ってご参加ください。

2011年10月14日

記

- 日時： 平成23年11月26日(土曜日)、10時～17時
会場： 玉川大学 大学研究室棟 B104
小田急線玉川学園前駅下車徒歩5分 下記キャンパスマップ 赤色の建物
<http://www.tamagawa.jp/access/campusmap.html>
主催： 日本菌学会
後援： 日本微生物学連盟
参加費： 会員 1,500 円、学生会員 1,000 円、非会員 2,000 円、非会員学生 1,500 円
賛助会員 1 社につき1名ご招待
問い合わせ先： 高木 忍 ST@novozymes.com
(@を半角にしてください)
申込先： 鳥取大学農学部附属 菌類きのこ遺伝資源研究センター
中桐 昭 nakagiri@muses.tottori-u.ac.jp (@を半角にしてください)
Tel & Fax 0857-31-5913

プログラム

- 10:00 開会の辞 奥田 徹 日本菌学会長
10:10 タモギタケのエルゴチオネイン 貫名 学 山形大学
10:40 福島県産きのこの食品機能性に関する研究 武井利之 福島県林業研究センター
11:10 きのこの栽培と現状 木村栄一 キノックス食用菌研究所
11:40 野外を利用したキノコ菌床栽培 大橋洋二 栃木県林業センター
12:10 お昼休み きのご展示即売
13:30 放射性物質ときのこ これまでの事例と今後の対策
吉田 聡 放射線医学総合研究所
14:20 菌根苗を用いたマツタケ栽培化試験 小林 久泰 茨城県林業技術センター
14:40 きのご料理の話題 山岡 昌治 MUSHROOM
15:00 新しいきのこの開発 川合源四郎 東京きのこ研究所
15:20 休憩 きのご展示即売
16:00 特別講演:炭と菌根による森林再生
小川 眞 大阪工業大学環境工学科、白砂青松再生の会、日本バイ炭普及会
17:00 閉会

案内図



大学研究室棟への行き方

小田急線玉川学園前駅下車、改札口を出て左側の階段を下りて、右方向へ徒歩3分の正門よりお入りください。(左右を間違えると悲劇です)

以上

切り取り

日本菌学会 秋のシンポジウム参加申込書

参加申し込みは、下欄にご記入のうえ、上記の申込先にファックスもしくは E-mail でお送りください (E-mail の場合は、下欄の内容を記していただけば、様式は問いません)。

日本菌学会	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 非会員学生		
ご芳名			
ご所属			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			